

指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体名及び選定結果

施設名	申請団体名	選定結果
徳島県腕山放牧場	徳島県酪農業協同組合	指定管理候補者

(選定理由)

徳島県酪農業協同組合は、これまでの当該施設の管理運営実績を有しているほか、現指定管理者として放牧期間内での入退牧を弾力的に実施するなど利便性を図る工夫が認められ、今後も適切な管理運営が期待できる。

また、当団体は生乳事業において県内全ての酪農家が組合員であり、ニーズ把握や利用促進について、最も効率的かつ確実に実施できる立場にあることから、提案内容の実効性等について適正であると認められるほか、地域への貢献面では、管理人の地元雇用などが提案されている。

これまでの管理運営実績からも、その実現性は確かであり、信頼性が高く、審査基準に基づく評価項目の全てにおいて適切であると認められることから、総合的に評価し、指定管理候補者として適格な団体であると判断した。

施設名	申請団体名	選定結果
徳島県立神山森林公園	徳島中央森林組合	指定管理候補者

(選定理由)

徳島中央森林組合は、これまでの当該施設の管理運営実績を有しているほか、施設管理等に関係する地元企業等との連携体制も充実しており、今後も適切な管理運営が期待できる。

また、利用促進面においては、四季折々の多彩なイベントを引き続き実施するほか、保健休養の場の提供に重点を置いた具体的かつ実現性のある健康管理ステーションやウォーキングマイレージなど、さらなる利用者確保のための新規企画が提案されている。

これまでの管理運営実績からも、その実現性は確かであり、信頼性が高く、審査基準に基づく評価項目の全てにおいて適切であると認められることから、総合的に評価し、指定管理候補者として適格な団体であると判断した。

施設名	申請団体名	選定結果
徳島県立高丸山千年の森	かみかつ里山倶楽部	指定管理候補者

(選定理由)

かみかつ里山倶楽部は、地元企業や林業関係団体など全10者で構成する共同企業体であり、これまでの当該施設の管理運営実績を有しているほか、当該施設の現指定管理者として、各施設ごとに行事に応じて管理責任者を配置するなど、安定した運営を行っており、今後も適切な管理運営が期待できる。

また、利用促進面においては、各構成員の持つノウハウを生かした多彩なイベントの開催に加え、過去の提案により創設した制度を継続するほか、ボランティアによる森づくり区画(遊学の森)での植栽木のモニタリング調査の創設など、さらなる利用者確保のための計画が提案されている。

これまでの管理運営実績からも、その実現性は確かであり、信頼性が高く、審査基準に基づく評価項目の全てにおいて適切であると認められることから、総合的に評価し、指定管理候補者として適格な団体であると判断した。

2 選定委員会委員名簿

役 職	氏 名
徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部教授	野地 澄晴
徳島商工会議所副会頭	本久 ミドリ
元社団法人徳島県労働者福祉協議会会長	加藤 高明
公認会計士・税理士	吉田 英勝
農林水産部長	豊井 泰雄
農林水産部ブランド戦略総局畜産課長	立川 進
農林水産部林業飛躍局林業振興課長	梅崎 康典

3 選定の経緯

平成23年 7月13日	第1回選定委員会 (募集要項の承認、審査基準・選定要領の決定)
20日	募集開始(募集要項の公表)
8月 8日～17日	現地説明会の開催
9月 9日～20日	申請書類受付
10月11日～19日	選定委員による事前の書類審査
20日	第2回選定委員会 (書類審査・面接審査の実施、指定管理候補者の選定)
25日	選定委員会からの選定結果報告書受理

4 選定委員会における選定結果

施 設 名	申 請 団 体 名	総合得点
徳島県腕山放牧場	徳島県酪農業協同組合	(適)
徳島県立神山森林公園	徳島中央森林組合	(適)
徳島県立高丸山千年の森	かみかつ里山倶楽部	(適)

※各施設とも申請者が1団体のみであったため、適・不適の判定を行った。

5 指定管理候補者の提案内容

施設名：徳島県腕山放牧場

区 分	徳島県酪農業協同組合
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	○早期に分娩・生乳生産を可能とするため、放牧期間中、授精適期に達する牛への人工授精及び受精卵移植の実施の拡充 ○途中入・退牧の受付など、きめ細やかな管理運営の実施 ○入・退牧時の発育率及び受胎率のデータ化による課題抽出と改善の実施 ○入牧前後の説明会・意見交換会などによる、利用者ニーズの把握と利用促進
効率的な管理運営 (経済性の追求)	○利用料金制度による管理運営 ○適正な草地管理と的確な輪牧の実施による草資源の有効活用
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	○現場管理人のほか、監督者として組合参事、業務部（2名）による管理運営体制 ○危機管理マニュアルに基づく緊急時の連絡体制の確立 ○放牧牛の飼養管理に必要な物資を完備 ○放牧牛の飼養管理に必要な専門的技術や知識を保有
その他、地域への貢献及び連携等	○地元と協調し、ふれあい施設や酪農（乳牛）への理解醸成 ○三好市との連携を図り、放牧場の運営上不可欠な牧道の維持管理を実施 ○現場管理人の地元雇用

施設名：徳島県立神山森林公園

区 分	徳島中央森林組合													
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	○「一日3人ふれあい運動」に加え「全ての来園者にあいさつ運動」を実施し、積極的に利用者ニーズを把握 ○公園内を2種類の管理区に分けて利用を促進 ○高齢者・身体障害者及び幼児を含む利用者への配慮 ○遠足の誘致 ○「ウォーキングマイレージ制度」「健康管理ステーション」等の創設による利用促進 ○さくら祭り、紅葉祭りなどの自主事業の実施													
効率的な管理運営 (経済性の追求)	○基準額（指定管理料）との比較 <table><tr><th>基 準 額 (円)</th><th colspan="2">提 案 額 (円)</th></tr><tr><td rowspan="3">70,875,000/年</td><td>H24</td><td>69,825,000</td></tr><tr><td>H25</td><td>69,562,500</td></tr><tr><td>H26</td><td>69,300,000</td></tr><tr><td colspan="2">債務負担行為限度額</td><td>208,688,000</td></tr></table> ○機動性のある作業班員による効率的な管理 ○省エネルギーを考えた施設管理	基 準 額 (円)	提 案 額 (円)		70,875,000/年	H24	69,825,000	H25	69,562,500	H26	69,300,000	債務負担行為限度額		208,688,000
基 準 額 (円)	提 案 額 (円)													
70,875,000/年	H24	69,825,000												
	H25	69,562,500												
	H26	69,300,000												
債務負担行為限度額		208,688,000												
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	○長年の経験及び実績のある職員の配置による、安定した管理運営の実施 ○災害時の対応マニュアルの整備及び園内掲示 ○個人情報の保護やコンプライアンスの徹底 ○園地管理作業に使用する機械・道具類を完備													
その他、地域への貢献及び連携等	○さくら祭り等での地元住民・団体との連携 ○シルバー人材センターなど地元作業員の臨時雇用 ○地元自治体との管理指導等での連携 ○地元小学校・保育所等への森林・環境学習の場の提供による連携 ○企業ボランティアの受け入れ・指導・協力													

施設名：徳島県立高丸山千年の森

区 分	かみかつ里山倶楽部													
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	○「千年の森ふれあい館」開館時間の延長（不定期） ○一般県民参加型活動プログラムの充実 ○構成員が保有するマイクロバスを活用した千年の森施設間の利用者送迎サービスの実施 ○「千年の森セミナー」の開催を通じた県民参加の森づくり運動のPR ○部会制（森づくり、環境教育、参加交流の3部会）の導入による多彩なイベントの開催													
効率的な管理運営（経済性の追求）	○基準額（指定管理料）との比較 <table><tr><th>基 準 額（円）</th><th colspan="2">提 案 額（円）</th></tr><tr><td rowspan="3">17,745,000／年</td><td>H24</td><td>17,640,000</td></tr><tr><td>H25</td><td>17,640,000</td></tr><tr><td>H26</td><td>17,640,000</td></tr><tr><td colspan="2">債務負担行為限度額</td><td>52,920,000</td></tr></table> ○参加グループで構成する企画運営会議による効率的な管理運営 ○ワーキングホリデー手法の導入による施設管理費縮減	基 準 額（円）	提 案 額（円）		17,745,000／年	H24	17,640,000	H25	17,640,000	H26	17,640,000	債務負担行為限度額		52,920,000
基 準 額（円）	提 案 額（円）													
17,745,000／年	H24	17,640,000												
	H25	17,640,000												
	H26	17,640,000												
債務負担行為限度額		52,920,000												
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	○参加グループで構成する企画運営会議、ワーキング会議の設置 ○部会制（森づくり、環境教育、参加交流の3部会）の導入 ○安全管理マニュアルの作成配備 ○町のゼロウェイスト宣言に基づくゴミ分別収集の遵守 ○携帯電話の通話可能地域の周知（高丸山地区） ○森づくりや環境学習に必要な物資や施設・設備等を保有													
その他、地域への貢献及び連携等	○地域内の参加グループ及びその他連携組織の特色を活かした管理運営 ○スタッフ等の地域内からの雇用 ○教育分野と活動連携を図り、県内外の小学校・中学校・高校・大学の環境教育の場として活用 ○地元自治体及び企業との連携による町内視察者の利用促進													